

| 題材名 (扱い時数) | 目標 | 学習活動に即した評価規準 | | 歌唱 | 器楽 | づ音楽 くり | 鑑賞 |
|---|---|--------------|--|----|----|-----------|----|
| <p>〈導入〉 どんな うたが あるかな ～ 「かたつむり」 (7時間扱い)</p> <p>※「ひらいた ひらいた」 「かたつむり」は 共通教材</p> | <p>(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、範唱を聴いて歌う技能を身に付ける。</p> | 知識・技能 | <p>【知-①】 「ひらいた ひらいた」の曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。</p> <p>【知-②】 「かたつむり」の曲想と拍やリズムなど音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。</p> | ○ | | | |
| | <p>【技-①】 範唱を聴いて歌う技能を身に付けている。</p> | | ○ | | | | |
| | <p>(2) 拍やその流れ、速度、旋律のもつリズム、強弱、変化を聞き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聞き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。</p> | 思考・判断・表現 | | ○ | | | ○ |
| <p>(3) 新しい友達と一緒に歌ったり、音楽に合わせて体などを動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、様々な音楽に親しむ。</p> | 主体的に学びに取り組む態度 | | ○ | | | | |

| 題材名 (扱い時数) | 目標 | 題材の評価規準 | 歌唱 | 器楽 | リズム づくり | 音楽 鑑賞 | |
|---------------------------|---|---------------|---|----|------------|----------|---|
| リズムと なかよし (6 時間扱い) | (1) 曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりや、身の回りのいろいろな音の特徴について気付くとともに、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせてリズム表現する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。 | 知識・技能 | 曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりや、身の回りのいろいろな音の特徴について気付いている。 | | | | ○ |
| | | | 互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。 | ○ | | ○ | |
| | (2) リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リズムづくりを通して音楽づくりの発想を得る。 | 思考・判断・表現 | リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リズムづくりを通して音楽づくりの発想を得ている。 | | | | ○ |
| | (3) 4 分音符や 4 分休符、8 分音符から成るリズムやその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズム表現に親しむ。 | 主体的に学習に取り組み態度 | 4 分音符や 4 分休符、8 分音符から成るリズムやその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 | ○ | | | |

| 題材名 (扱い時数) | 目標 | 学習活動に即した評価規準 | 唱歌 | 器楽 | リズム づくり | 音楽 鑑賞 | |
|---|--|---------------|--|----|------------|----------|---|
| 〈おとの スケッチ〉 ことばの リズムで あそぼう (2 時間扱い) | (1) 言葉とリズムとの関わりや、楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりする。 | 知識・技能 | 【知-①】 言葉とリズムとの関わりや、楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 | | | ○ | |
| | | | 【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。 | | | ○ | |
| | (2) 言葉のリズムや楽器の音を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。 | 思考・判断・表現 | 【思-①】 言葉のリズムや楽器の音を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。 | | | | ○ |
| | (3) 言葉とリズムとの関わりや面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムや打楽器に親しむ。 | 主体的に学習に取り組み態度 | 【主-①】 言葉とリズムとの関わりや面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 | | | ○ | |

| 題材名 (扱い時数) | 目標 | 学習活動に即した評価規準 | | 歌唱 | 器楽 | づくり 音楽 | 鑑賞 |
|--|---|--|---|----|----|-----------|----|
| くっぽんのうた みんなのうた 「うみ」(共通教材) (2時間扱い) | (1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。 | 知識・技能 | 【知-①】 「うみ」の曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 | ○ | | | |
| | | | 【技-①】 「うみ」を、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。 | ○ | | | |
| | (2) 拍やその流れ、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 | 思考・判断・表現 | 【思-①】 「うみ」の拍やその流れ、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 | ○ | | | |
| (3) 情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。 | 主体的に学習に取り組む態度 | 【主-①】 「うみ」の歌詞の、情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 | ○ | | | | |

| 単元名・時数 | 目標 | 題材の評価規準 | | 歌唱 | 器楽 | づくり 音楽 | 鑑賞 |
|--|--|--|---|----|----|-----------|----|
| どれみと なかよし (4時間扱い・9月) | (1) 曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付くとともに、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、音高を体などで表現する技能を身に付ける。 | 知識・技能 | 曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付いている。 | | | | ○ |
| | | | 階名で模唱したり暗唱したりする技能や、音高を体などで表現する技能を身に付けている。 | ○ | | | |
| | (2) 旋律やその変化、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 | 思考・判断・表現 | 旋律やその変化、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 | ○ | | | |
| (3) 階名と音高との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、階名に親しむ。 | 主体的に学習に取り組む態度 | 階名と音高との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 | | | | | ○ |

| 題材名 (扱い時数) | 目標 | 学習活動に即した評価規準 | | 唱歌 | 楽器 | 音楽鑑賞 |
|--|---|--|--|----|----|------|
| 〈こんにちは けんぱんハーモニカ〉 (2時間+毎時) | (1) 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付ける。 | 知識・技能 | 【知-①】 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。 | | ○ | |
| | | | 【技-①】 「ど」の鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能を身に付けている。 【技-②】 鍵盤ハーモニカの扱い方や「どれみふあそ」の鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付けている。 | | ○ | |
| | (2) 旋律、伴奏の速度やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。 | 思考・判断・表現 | 【思-①】 「まほうのど」の旋律、伴奏の速度やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 | | ○ | |
| (3) 鍵盤ハーモニカによる表現に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。 | 主体的に学習に取り組む態度 | 【主-①】 鍵盤ハーモニカによる表現に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 | | ○ | | |

| 題材名 (扱い時数) | 目標 | 題材の評価規準 | | 唱歌 | 楽器 | 音楽鑑賞 |
|--|---|--|--|----|----|------|
| もりあがりをかんじて (2時間扱い) | (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 | 知識・技能 | 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。 | ○ | | |
| | | | 階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 | ○ | | |
| | (2) 旋律の流れや音階を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 | 思考・判断・表現 | 旋律の流れや音階を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 | | ○ | |
| (3) 歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。 | 主体的に学習に取り組む態度 | 歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 | | ○ | | |

| 題材名 (扱い時数) | 目標 | 題材の評価規準 | | 唱歌 | 楽器 | 音楽鑑賞 |
|--|---|---|---|----|----|------|
| いい おと みつけて (7時間扱い) | (1) いろいろな音の響きの特徴や、音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 | 知識・技能 | いろいろな音の響きの特徴や、音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 | | | ○ |
| | 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。 | | | | ○ | |
| | (2) 楽器の音や呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。 | 思考・判断・表現 | 楽器の音や呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。 | | | ○ |
| (3) 自分や友達の出す音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、様々な楽器の音に親しむ。 | 主体的に学習に取り組む態度 | 自分や友達の出す音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 | | | ○ | |

| 題材名 (扱い時数) | 目標 | 学習活動に即した評価規準 | | 唱歌 | 楽器 | 音楽鑑賞 |
|---|---|---|---|----|----|------|
| 〈おとの スケッチ〉 ねこの なきごえで あそぼう (3時間扱い) | (1) 音高や強弱、声の出し方の変化による表現の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、設定した条件に基づいて即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 | 知識・技能 | 【知-①】 音高や強弱、声の出し方の変化による表現の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 | | | ○ |
| | 【技-①】 設定した条件に基づいて即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。 | | | | ○ | |
| | (2) 音高や強弱など多様な声の出し方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったりする。 | 思考・判断・表現 | 【思-①】 音高や強弱など多様な声の出し方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったりしている。 | | | ○ |
| (3) 声による多様な表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、即興的な表現に親しむ。 | 主体的に学習に取り組む態度 | 【主-①】 声による多様な表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 | | | | ○ |

| 題材名 (扱い時数) | 目標 | 題材の評価規準 | | 歌唱 | 器楽 | 音楽づくり | 鑑賞 |
|-------------------------|---|---------------|---|----|----|-------|----|
| きよくの ながれ (3時間扱い) | (1) 曲想と、旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など音楽の構造との関わりに気付く。 | 知識 | 曲想と、旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など音楽の構造との関わりに気付いている。 | | | | ○ |
| | (2) 楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。 | 思考・判断・表現 | 楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 | | | | ○ |
| | (3) 楽器の音色、旋律の反復と変化、拍やその流れなどから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。 | 主体的に学習に取り組む態度 | 楽器の音色、拍やその流れなどから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 | | | | ○ |

| 題材名 (扱い時数) | 目標 | 学習活動に即した評価規準 | | 歌唱 | 器楽 | 音楽づくり | 鑑賞 |
|---|---|---|--|----|----|-------|----|
| くめざせ がっきめいじん 「すずめが ちゅん」 (毎時扱い) | (1) 曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付くとともに、範奏を聴いたり、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付ける。 | 知識・技能 | 【知-①】 「すずめがちゅん」の曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付いている。 | | ○ | | |
| | | | 【技-①】 「すずめがちゅん」の範奏を聴いたり、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。 | | ○ | | |
| | (2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。 | 思考・判断・表現 | 【思-①】 「すずめがちゅん」の旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 | | ○ | | |
| (3) 楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。 | 主体的に学習に取り組む態度 | 【主-①】 「すずめがちゅん」を楽器で演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 | | ○ | | | |

○=本評価規準例における中心的な項目

| 題材名 (扱い時数) | 目標 | 題材の評価規準 | | 歌唱 | 器楽 | 音楽 | 鑑賞 |
|---|--|--|---|----|----|----|----|
| うたで まねっこ (4時間扱い) | (1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付ける。 | 知識・技能 | 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。 | ○ | | | |
| | | | 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。 | ○ | | | |
| | (2) 歌声を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 | 思考・判断・表現 | 歌声を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 | ○ | | | |
| (3) 交互唱の面白さや友達との表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、交互唱に親しむ。 | 主体的に学習に取り組む態度 | 交互唱の面白さや友達との表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 | ○ | | | | |

| 題材名 (扱い時数) | 目標 | 題材の評価規準 | | 歌唱 | 器楽 | 音楽 | 鑑賞 |
|--|---|--|--|----|----|----|----|
| みんなで あわせて (3時間扱い) | (1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、拍に合わせてリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付ける。 | 知識・技能 | 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 | ○ | | | |
| | | | 互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、拍に合わせてリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付けている。 | ○ | | ○ | |
| | (2) 拍や旋律、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。 | 思考・判断・表現 | 拍や旋律、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 | | | | ○ |
| (3) 拍や旋律、楽器の音色などから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。 | 主体的に学習に取り組む態度 | 拍や旋律、楽器の音色などから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 | | | | ○ | |

○=本評価規準例における中心的な項目

| 題材名 (扱い時数) | 目標 | 学習活動に即した評価規準 | 歌唱 | 器楽 | づ くり 音楽 | 鑑賞 |
|--|--|---------------|----|----|---------------|----|
| <p>〈おとの スケッチ〉 ほしの おんがくを つくろう</p> <p>(4 時間扱い)</p> | <p>(1) 旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。</p> | 知識・技能 | | | ○ | |
| | <p>(2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもつ。</p> | 思考・判断・表現 | | | ○ | |
| | <p>(3) 短い旋律をつくったり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、旋律づくりに親しむ。</p> | 主体的に学習に取り組む態度 | | | ○ | |
| | <p>【知-①】 つくった旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。</p> <p>【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。</p> <p>【思-①】 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。</p> <p>【主-①】 短い旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。</p> | | | | | |

○=本評価規準例における中心的な項目